

◆経済倶楽部講演会第4288回（5月10日）

人口成熟で激変する日本、東アジア、世界の 2020年代―壊滅するのは過疎地なのか、それとも大都市圏か？

（株）日本総合研究所主席研究員 藻谷 浩介

- * 事実を数字で確認しないと間違える
- * 景気論議はどうあれ内需は横ばい
- * 内需が伸びない理由は人口問題
- * 日本の人口問題をどう考えるか
- * 首都圏における人口増加の理由
- * 人口減少問題の急所は少子化にある
- * 日本の比ではない中国の高齢者激増
- * アメリカでも医療・福祉システムが問題に
- * ASEAN諸国でも高齢化問題が到来する
- * 高齢化対策の答えがある島根県



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

本日は藻谷浩介さんにおいでいただきました。東京大学法学部をご卒業後、日本開発銀行に入行され、途中、ロンビア大学で大学院を修了されましたが、その後、政策投資銀行から日本総研に移られて現在に至っております。2010年、『デフレの正体』という著書でたいへん話題を呼びましたが、今日は日本のデフレの正体ではなくて、さらに問題を広げて東アジア、さらには世界の状況が人口の成熟というものによってどういうふうになるのかお話しいただくことになっております。皆さんいろいろな方にごとお話を聞いていただいておりますが、きちんとしたデータに基づいて、印象論でないお話を聞くことが、ある意味でわれわれの責務

でございますので、今日はそれにふさわしいお話が聞けると思います。それでは藻谷さんよろしくお願いたします。（拍手）

事実を数字で確認しないと間違える

藻谷 皆様こんにちは。藻谷でございます。今日はお呼びいただきましたありがとうございます。高名な方が多々出ていらっしゃる経済倶楽部の講演会に呼んでいただきまして光栄です。私は普段、ドサ回りが仕事でして、今日もこの後、毎日新聞に少し寄った後で長野県に講演に行き、明日は愛知県の隅のほうに講演に行く。主に地方におります。おとといはまだイスラエルにいました。これは講演に行ったのではなくて、どういうところか一回行っておこうと思っ